

若き主張は無限に広がる。

第22回
全国中学・高校
ディベート
選手権

2017. 8.5 [土] ▶ 7 [月] | 立教大学
(東京都豊島区)

主催: 読売新聞社、全国教室ディベート連盟 / 後援: 文部科学省
協賛: 日本テレビ放送網 / 特別協力: 立教大学





大会概要

第22回 全国中学・高校ディベート選手権 (ディベート甲子園)

2017年8月5日(土)～7日(月) 立教大学

●主催:読売新聞社、全国教室ディベート連盟 ●後援:文部科学省 ●協賛:日本テレビ放送網 ●特別協力:立教大学

論 題

中学の部

「日本は小売店の深夜営業を禁止すべきである。是か非か」

※ここでいう小売店とは、商品を消費者に売る有人の店舗とし、飲食店を含む。ただし、ガソリンスタンドは除く。

※ここでいう深夜営業とは午後10時から午前5時までの販売、配送とする。

高校の部

「日本は企業に対する正社員の解雇規制を緩和すべきである。 是か非か」

※ここでいう緩和とは「人員整理の必要性」および「解雇回避努力義務の履行」を整理解雇の要件から除外することとする。



目 次

ごあいさつ／表彰	2
スケジュール	3
ディベートの試合を楽しむために	4～5
大会会場	6
中学の部 出場校・議論のポイント	7
組み合わせ	8～9
出場校紹介	10～12
高校の部 出場校・議論のポイント	13
組み合わせ	14～15
出場校紹介	16～19
大会ルール	20～22
全国教室ディベート連盟・連絡先	23
過去の論題と優勝校	24～25

ごあいさつ

特定非営利活動法人 全国教室ディベート連盟 理事長

藤川 大祐

(千葉大学教育学部教授・副学部長)

第22回全国中学・高校ディベート選手権(ディベート甲子園)にご来場くださった皆様、ありがとうございます。

私たち全国教室ディベート連盟は、読売新聞社とともに、全国の中学生、高校生が互いに交流しつつディベートを学び、議論の力を伸ばす場をつくりたいと願い、1996年よりディベート甲子園を開催してまいりました。本年3月に公示された新学習指導要領でも「主体的・対話的で深い学び」が柱の一つとなっており、ディベートが育成する論理的思考力や表現力の重要性がますます高まっていると考えられます。

第22回となる今大会の論題は、中学の部が小売店の深夜営業禁止の是非、高校の部が正社員の解雇規制緩和の是非であり、いずれも働き方に関係するものとなっています。労働形態が多様化する中で働き方が注目されている中で、近い将来それぞれの進路で働くことになるはずの中高生たちに、当事者意識をもって議論をしてもらいたいと願っています。

本年も会場をご提供くださった立教大学の関係者の方々、大会の趣旨に賛同し協賛・後援等をしてくださっている企業等の方々、引率やご指導をくださっているの方々、そして審判やスタッフとして大会を支えてくださっているの方々に感謝申し上げます。選手諸君の真摯な議論がご支援くださっている皆様のご期待に応えるものとなることを期待いたします。



表彰

優勝 (文部科学大臣賞)
主催者から賞状とトロフィー、優勝旗を授与

準優勝
主催者から賞状とトロフィーを授与

第3位
主催者から賞状とトロフィーを授与

入賞 (ベスト8進出校)
主催者から賞状を授与



ベストディベーター賞

主催者から賞状、トロフィーを授与

中学、高校の決勝に進出した学校の中から、マナーを含め優れたスピーチをした選手各1名に贈られます。

ベストコミュニケーション賞

日本テレビ放送網から賞状、トロフィーを授与

相手の話を正しく聞き、自分の考えを分かりやすく伝えるというディベートに最も必要なコミュニケーションの基礎を重視し、コミュニケーション点の平均が最も高かった学校に贈られます。中学、高校から各1校が選ばれます。

最優秀指導者賞

主催者から賞状、トロフィーを授与

優秀な成績を収めた学校の指導者の中から、特に顕著な功績があったと認められる指導者に贈られます。中学、高校から各1名が選ばれます。

立教大学総長賞

立教大学から賞状、トロフィーを授与

競技ディベート普及の観点から、出場回数が少ないながら今大会で健闘した高校1校に贈られる奨励賞です。



スケジュール

8/5^土
大会
1日目

	中学の部	高校の部
9:00		
10:00		
11:00		
12:00		
12:30~12:50	開会式(会場:5123)	開会式(会場:5123)
13:00		
14:00		13:30~14:50 高校予選リーグ 第1試合(会場:2F・3F・4F)
15:00		
15:10~16:20	中学予選リーグ 第1試合 (会場:3F)	
16:00		
17:00		16:40~18:00 高校予選リーグ 第2試合(会場:2F・3F・4F)
18:00		

8/6^日
大会
2日目

	中学の部	高校の部
9:00		
9:30~10:40	中学予選リーグ 第2試合(会場:3F)	9:30~10:50 高校予選リーグ 第3試合①(会場:2F・4F)
10:00		
11:00		
11:10~12:20	中学予選リーグ 第3試合(会場:3F)	11:10~12:30 高校予選リーグ 第3試合②(会場:2F・4F)
12:00		
13:00		
13:50~15:00	中学決勝トーナメント 1回戦(会場:3F)	13:50~15:10 高校決勝トーナメント 1回戦 (会場:2F・4F)
14:00		
15:00		
15:50~17:10	中学準々決勝(会場:3F)	15:50~17:20 高校準々決勝(会場:2F)
16:00		
17:00		
18:00		

8/7^月
大会
3日目

	中学の部	高校の部
9:00		
9:20~10:40	中学準決勝 (会場:5222・5322)	
10:00		
11:00		
11:20~12:00	中学決勝(会場:5123)	11:10~12:40 高校準決勝 (会場:5222・5322)
12:00		
12:50~13:10	中学決勝結果発表(会場:5123)	
13:00		
13:30~14:20		高校決勝(会場:5123)
14:00		
14:40~15:20		即興ディベート(会場:5123)
15:00		
15:40~16:00		高校決勝結果発表(会場:5123)
16:00		
16:25~17:00	表彰式・閉会式(会場:5123)	16:25~17:00 表彰式・閉会式(会場:5123)
17:00		
18:00		

ディベートって何？

ディベートとは、2つの立場に分かれて第三者を説得する形で行われる議論のことです。ディベート甲子園では、審判（ジャッジ）を説得することを目的とした競技ディベートにより、議論の優劣を競います。

競技ディベートでは、一定のルールに従って、肯定側と否定側のどちらかをランダムに担当して議論を行います。このように、自分の意見と切り離して議論を行うことで、物事を様々な角度から考えることになり、より深い思考を展開できるようになります。また、競技ディベートでは中立の立場にある審判を説得しなければなりませんから、相手をやり込めるような物言いは評価されません。説得のために努力することを通じて、議論のための議論ではなく、より妥当で説得力のある議論を考えようとする態度や能力を身につけることができます。

このように、競技ディベートでは、準備や試合を通じて議論を楽しみながら、論理的思考力や分析能力など、現代社会で求められる「自分で考えるための力」を養うことができます。



ディベートの見どころ

ディベートでは、試合までの準備で8割方、勝負が決まるとされています。ディベート甲子園でも、3月1日に論題（議論のテーマ）が発表されてから、選手たちは難しい論題について議論するため、書籍や論文などたくさんの文献に当たり、それらを元にして立論を作ったり、相手の議論を予想して反論を準備したりと、長い時間をかけて今日の試合に臨んでいます。

こうした選手たちの努力を想像しながら、中高生が今回の論題についてどんな議論を準備してきたのか、また自分だったらどのように主張するか、といったことを考えながら試合をご覧になると、ディベートの試合をより楽しめるはずです。



試合の流れ

本大会の試合は、以下の流れで進みます。自分たちのスピーチ前には、否定側第1反駁^{はんぱく}までは各1分、それ以降は各2分の準備時間があります。



START

肯定側立論

中学 4分

高校 6分

否定側質疑

中学 2分

高校 3分

否定側立論

中学 4分

高校 6分

肯定側質疑

中学 2分

高校 3分

否定側第1反駁

中学 3分

高校 4分

肯定側第1反駁

中学 3分

高校 4分

否定側第2反駁

中学 3分

高校 4分

肯定側第2反駁

中学 3分

高校 4分

講評・判定

試合が終わると、ジャッジにより、試合を振り返っての講評(アドバイス)と、判定の説明が行われます。試合の勝敗(判定)は、各ジャッジが独立して投票した結果を集計して決まります。各ジャッジは、メリットとデメリットを評価し、前者がより大きい場合には肯定側に、それ以外の場合には否定側に投票します。

立論

立論は、それぞれのチームが、自分たちの立場を支持すべき理由を述べるステージです。

肯定側は、論題を実行する具体的な方法(プラン)や、論題を実行することによって生じる利益(メリット)を提案することで、論題の採択を主張します。これに対して否定側は、論題を実行することで起こる不利益(デメリット)を主張することで、論題に反対する理由を述べます。

質疑

質疑の時間は、質疑者の主導により、一問一答形式で質疑応答が進行していきます。質問に答えるのは、立論を担当した選手です。

質疑の目的は、相手の議論で不明確だった点の確認や、議論の前提となっている事実を追及することを通じて、相手の議論の弱点をジャッジにアピールし、反駁を円滑に進めることにあります。質疑でのやり取りはそのまま判定材料になるわけではありませんが、反駁で取り上げられることを通じて判定に影響を与えます。

第1反駁^{はんぱく}

第1反駁は、両チームに与えられる1回目の反論機会です。ここでは主に、相手方の議論に対して打撃を与えることを目的とした反論が展開されます。

否定側第1反駁では、肯定側立論の内容(メリット)に対する反論が行われます。その次に行われる肯定側第1反駁では、否定側立論の内容(デメリット)への反論に加えて、メリットを守るために否定側第1反駁への再反論を行う必要があります。

第2反駁

第2反駁は、両チームの2回目の反論機会であり、試合でスピーチできる最後の機会です。

第2反駁では、試合で争われた個々の争点について、再反論やまとめを行ったうえで、議論全体を総括して自分たちが勝っている理由を説明します。



中学校の部
〈論 題〉

日本は地方公共団体の首長の多選を禁止すべきである。是か非か

＊ 同一人物が同一地方公共団体に通算3期以上、連続して就任することを禁止する。

日本は国民

＊ ここでいう法律の制定

＊ 投票の順序

中学の部

【論題】「日本は小売店の深夜営業を禁止すべきである。是か非か」

※ここでいう小売店とは、商品を消費者に売る有人の店舗とし、飲食店を含む。ただし、ガソリンスタンドは除く。

※ここでいう深夜営業とは午後10時から午前5時までの販売、配送とする。

議論のポイント

昼活動して、夜眠る。昔はそれが当然とされてきましたが、現代では必ずしもそうではありません。人々のライフスタイルが多様化した今日では、夜になっても学業や仕事に励む人も多くいます。こうした変化に営業時間の拡大という形で応えてきたのが、今回の論題の主役である飲食店やコンビニなどの小売店です。とりわけ都市部においては、24時間営業している店舗が数多く存在します。

こうした深夜営業は高い利便性をもたらしましたが、近年では弊害も指摘されています。その一つが、現場の労働者や店舗オーナーの過重労働です。人手不足や価格競争などにより、小売店や飲食店が十分な人手を確保することは困難になりつつあります。このような事情から、少数の働き手に仕事が過重に降りかかる事態が発生しています。近年メディアを賑わせた「ワンオペ」「ブラックバイト」といった言葉は、こういった状況を示すよい例でしょう。

こういった問題があるのは確かですが、チェーン本部側は「あの店はいつでも開いていて便利」というイメージが悪化するのを懸念していると言われており、深夜営業するか否かを各店舗の自主性に任せるところまで踏み込むようになるかは疑問の余地があります。

そこで、法律で全ての小売店や飲食店の深夜営業を一律に禁止し「やめたいけどやめられない」という状況を変えようというわけです。

肯定側は、現場で発生している過重労働問題の解消をメリットとして提示できるでしょう。その他にも、 unnecessaryな電力消費を減らす、夜型ライフスタイルの変革を促す、といったメリットも考えられます。

否定側は、小売店や飲食店が雇用を生み出している側面に着目できます。夜に働く必要がある人にとっては、深夜の小売店や飲食店は貴重な就労の場です。深夜営業を禁止するとこうした深夜の雇用が失われ、失業者が増加する可能性があります。また、深夜営業の小売店や飲食店は、深夜活動している人々にとっては買い物や食事の場であり、それを失うことは生活の利便性が低下するでしょう。また、小売店や飲食店が地域の防犯に役立っているとの指摘もあり、こうした効果も低下するかもしれません。否定側は、こうした観点から深夜営業禁止のデメリットを論じることができるでしょう。

肯定側、否定側両チームがどのような議論を提示し、どのような反論の応酬を行うか、ご期待ください。

論題検討委員 榊原陽介

- 北海道地区代表 ▶ 札幌光星中学校 (北海道)
- 東北地区代表 ▶ いわき市立中央台北中学校 (福島県)
- 関東甲信越地区代表 ▶ 渋谷教育学園幕張中学校 (千葉県)
開智中学校 (埼玉県)
品川区立日野学園 (東京都)
女子聖学院中学校 (東京都)
神奈川県立平塚中等教育学校 (神奈川県)
西武台新座中学校 (埼玉県)
- 東海地区代表 ▶ 東海中学校 (愛知県)
高浜市立高浜中学校 (愛知県)
聖マリア女学院中学校 (岐阜県)
南山中学校女子部 (愛知県)
愛知教育大学附属名古屋中学校 (愛知県)
- 近畿・北陸地区代表 ▶ 関西創価中学校 (大阪府)
洛南高等学校附属中学校 (京都府)
灘中学校 (兵庫県)
- 中国・四国地区代表 ▶ 岡山白陵中学校 (岡山県)
岡山県立岡山大安寺中等教育学校 (岡山県)
慶進中学校 (山口県)
- 九州地区代表 ▶ 熊本市立出水中学校 (熊本県)
大分大学教育学部附属中学校 (大分県)
精道三川台中学校 (長崎県)
福岡教育大学附属小倉中学校 (福岡県)
熊本マリスト学園中学校 (熊本県)

予選リーグ

1組		渋谷幕張	岡山大安寺	精道三川台
	渋谷教育学園幕張中(千葉県)			
	岡山大安寺中等(岡山県)			
	精道三川台中(長崎県)			

8月5日(土) 15:10~16:20 [5301教室]
渋谷教育学園幕張中 肯定 - 精道三川台中

8月6日(日) 9:30~10:40 [5301教室]
精道三川台中 肯定 - 岡山大安寺中等

8月6日(日) 11:10~12:20 [5301教室]
岡山大安寺中等 肯定 - 渋谷教育学園幕張中

2組		高浜	女子聖	熊本マリスト
	高浜市立高浜中(愛知県)			
	女子聖学院中(東京都)			
	熊本マリスト学園中(熊本県)			

8月5日(土) 15:10~16:20 [5302教室]
高浜市立高浜中 肯定 - 熊本マリスト学園中

8月6日(日) 9:30~10:40 [5302教室]
熊本マリスト学園中 肯定 - 女子聖学院中

8月6日(日) 11:10~12:20 [5302教室]
女子聖学院中 肯定 - 高浜市立高浜中

3組		開智	聖マリア	福教大小倉
	開智中(埼玉県)			
	聖マリア女学院中(岐阜県)			
	福岡教育大附属小倉中(福岡県)			

8月5日(土) 15:10~16:20 [5304教室]
開智中 肯定 - 福岡教育大附属小倉中

8月6日(日) 9:30~10:40 [5304教室]
福岡教育大附属小倉中 肯定 - 聖マリア女学院中

8月6日(日) 11:10~12:20 [5304教室]
聖マリア女学院中 肯定 - 開智中

4組		日野学園	中央台北	愛教大名古屋
	品川区立日野学園(東京都)			
	いわき市立中央台北中(福島県)			
	愛知教育大附属名古屋中(愛知県)			

8月5日(土) 15:10~16:20 [5305教室]
品川区立日野学園 肯定 - 愛知教育大附属名古屋中

8月6日(日) 9:30~10:40 [5305教室]
愛知教育大附属名古屋中 肯定 - いわき市立中央台北中

8月6日(日) 11:10~12:20 [5305教室]
いわき市立中央台北中 肯定 - 品川区立日野学園

5組		関西創価	平塚中等	慶進
	関西創価中(大阪府)			
	神奈川県立平塚中等(神奈川県)			
	慶進中(山口県)			

8月5日(土) 15:10~16:20 [5321教室]
関西創価中 肯定 - 慶進中

8月6日(日) 9:30~10:40 [5321教室]
慶進中 肯定 - 神奈川県立平塚中等

8月6日(日) 11:10~12:20 [5321教室]
神奈川県立平塚中等 肯定 - 関西創価中

6組		岡山白陵	大分大附	灘
	岡山白陵中(岡山県)			
	大分大教育学部附属中(大分県)			
	灘中(兵庫県)			

8月5日(土) 15:10~16:20 [5322教室]
岡山白陵中 肯定 - 灘中

8月6日(日) 9:30~10:40 [5322教室]
灘中 肯定 - 大分大教育学部附属中

8月6日(日) 11:10~12:20 [5322教室]
大分大教育学部附属中 肯定 - 岡山白陵中

7組		出水	西武台新座	南山
	熊本市立出水中(熊本県)			
	西武台新座中(埼玉県)			
	南山中女子部(愛知県)			

8月5日(土) 15:10~16:20 [5323教室]
熊本市立出水中 肯定 - 南山中女子部

8月6日(日) 9:30~10:40 [5323教室]
南山中女子部 肯定 - 西武台新座中

8月6日(日) 11:10~12:20 [5323教室]
西武台新座中 肯定 - 熊本市立出水中

8組		東海	洛南	札幌光星
	東海中(愛知県)			
	洛南高附属中(京都府)			
	札幌光星中(北海道)			

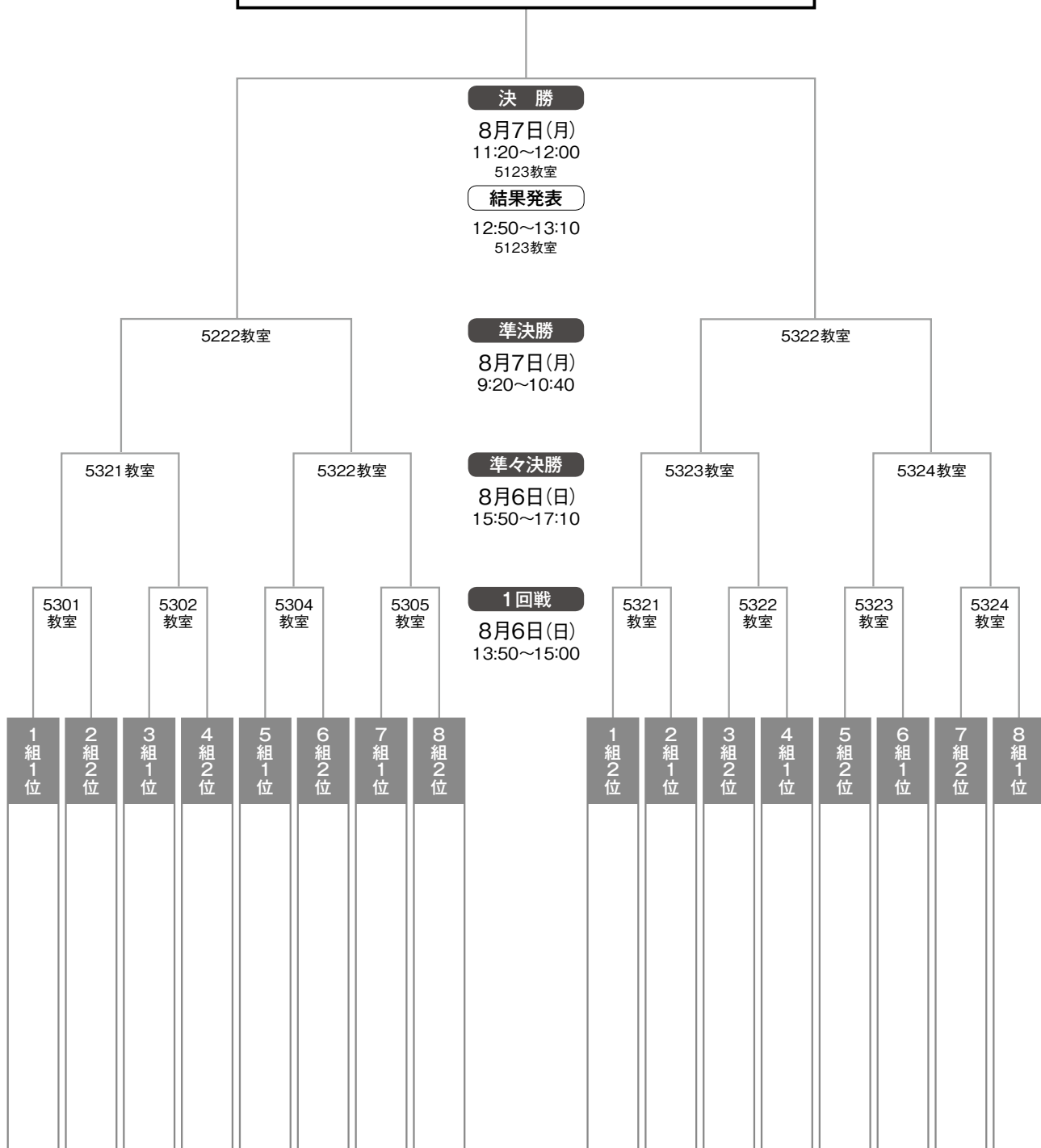
8月5日(土) 15:10~16:20 [5324教室]
東海中 肯定 - 札幌光星中

8月6日(日) 9:30~10:40 [5324教室]
札幌光星中 肯定 - 洛南高附属中

8月6日(日) 11:10~12:20 [5324教室]
洛南高附属中 肯定 - 東海中

決勝トーナメント

優  勝



試合結果の
確認はこちらへ!

※一部の機種ではご覧いただけ
ない場合があります。

第22回ディベート甲子園 速報サイト
<http://koshien2017.nade.jp/>



FRESH! by CyberAgentで決勝戦・表彰式を生中継
<https://freshlive.tv/dkoshien>



北海道地区代表

初出場

札幌光星中学校

- 引 率…小田真理奈
- 選 手…佐藤 綾佳(3年) 柳原 綾乃(3年)
田中 侑(3年) 落合伶次朗(3年)
森下 賢(2年)
- 所 在 地…北海道札幌市

東北地区代表

5年連続5回目

いわき市立中央台北中学校

- 引 率…櫻村弘一郎
- 選 手…伊藤優季奈(3年) 鈴木 遥果(3年)
金成 美咲(3年) 寺島 菜帆(3年)
荒井 凜子(2年) 内田 夏海(2年)
- 所 在 地…福島県いわき市



関東甲信越地区代表

2年連続11回目

渋谷教育学園幕張中学校

- 引 率…高橋 淑哉・深澤 昭憲
- 選 手…水嶋 美羽(3年) 佐々木善功(3年)
加藤 颯矢(3年)
- 所 在 地…千葉県千葉市

関東甲信越地区代表

3年連続3回目

開智中学校

- 引 率…豊田 昂希
- 選 手…多田 哲夫(3年) 森 祐人(3年)
諸岡 千恵(3年) 高井 啓成(2年)
田村 晃大(2年) 須賀 和海(2年)
- 所 在 地…埼玉県さいたま市

関東甲信越地区代表

初出場

品川区立日野学園

- 引 率…伊藤景一郎
- 選 手…佐藤 紫音(9年) 白濱 紗羅(9年)
中西 美直(9年) 澁谷萌々子(9年)
- 所 在 地…東京都品川区

関東甲信越地区代表

2年ぶり9回目

女子聖学院中学校

- 引 率…筑田 周一
- 選 手…松山歌那子(3年) 中山 アリカ(3年)
上田 優衣(2年)
- 所 在 地…東京都北区

関東甲信越地区代表

初出場

神奈川県立平塚中等教育学校

- 引 率…小島美由紀
- 選 手…大江 朝日(3年) 益尾 広大(3年)
齊山 天彪(3年) 深山 遥(3年)
藤井 遥香(3年) 西村 真琴(3年)
- 所 在 地…神奈川県平塚市

関東甲信越地区代表

2年連続2回目

西武台新座中学校

- 引 率…高味 直毅
- 選 手…高橋 李緒(3年) 小林 千真(2年)
山崎万梨子(2年) 金子 あゆみ(2年)
- 所 在 地…埼玉県新座市

東海地区代表

12年連続13回目

東海中学校

- 引 率…村上 彰慶・渡辺 真澄
- 選 手…中村 匠人(3年) 齋藤 優季(3年)
齊藤 康(3年) 南谷 翔(3年)
竹花 賢人(3年) 木村 朔(2年)
- 所 在 地…愛知県名古屋市

東海地区代表

6年連続6回目

高浜市立高浜中学校

- 引 率…鈴木奈緒美
- 選 手…日沼 佳大(3年) 鈴木美優香(3年)
中川 大和(2年) 大原 琉生(2年)
- 所 在 地…愛知県高浜市

東海地区代表

2年ぶり2回目

聖マリア女学院中学校

- 引 率…市橋 祐奈
- 選 手…青木 七海(2年) 加藤 碧里(2年)
加藤 倭子(2年) 河合智沙乃(2年)
清水 未葉(2年) 梅村 優子(3年)
- 所 在 地…岐阜県岐阜市

東海地区代表

2年ぶり9回目

南山中学校女子部

- 引 率…糟屋 徹
- 選 手…飯田 京加(3年) 草間 美咲(3年)
棚橋 日向(2年) 仁瓶 実里(1年)
- 所 在 地…愛知県名古屋市



東海地区代表

6年ぶり6回目

愛知教育大学附属名古屋中学校

- 引 率…沼山季代典
- 選 手…中村庄之介(3年) 月東 晴空(3年)
加藤 千晶(3年) 村松 美咲(3年)
青山亜佐美(3年) 國料 香月(2年)
- 所 在 地…愛知県名古屋市

近畿・北陸地区代表

3年連続5回目

関西創価中学校

- 引 率…吉田 和夫・松下 和広
- 選 手…山野 陽麗(3年) 佐久間 諒(3年)
隠岐 大祐(3年) 村田 さくら(3年)
大河内拓也(2年) 山本 創太(2年)
- 所 在 地…大阪府交野市

近畿・北陸地区代表

3年連続3回目

洛南高等学校附属中学校

- 引 率…川上 圭介・河村 有紀
- 選 手…小林 馨(3年) 濱野 泰輔(3年)
三好 和樹(3年) 沼里 一輝(3年)
松下 航大(3年) 米岡 和哉(3年)
- 所 在 地…京都府京都市

近畿・北陸地区代表

2年ぶり4回目

灘中学校

- 引 率…宮田幸一良
- 選 手…外園 駿(3年) 藤井 敦也(2年)
松井 優太(2年) 稲岡 諒(2年)
伊丹 裕貴(2年) 岩井 響(2年)
- 所 在 地…兵庫県神戸市



中国・四国地区代表

2年連続14回目

岡山白陵中学校

- 引 率…大竹みしず
- 選 手…片山 太貴(3年) 藤井 瑞起(3年)
- 所在地…岡山県赤磐市

中国・四国地区代表

3年連続5回目

岡山県立岡山大安寺中等教育学校

- 引 率…横山 雅子
- 選 手…山口 紗加(3年) 山下日菜子(3年)
石原 茉依(3年) 篠田 実希(3年)
大原 凜子(2年) 中嶋 優衣(2年)
- 所在地…岡山県岡山市

中国・四国地区代表

2年ぶり3回目

慶進中学校

- 引 率…藤井 桜
- 選 手…片山 ゆい(3年) 後藤 晴香(3年)
星木 良歩(3年) 須郷 佑香(3年)
小川 あきほ(3年)
- 所在地…山口県宇部市

九州地区代表

2年連続2回目

熊本市立出水中学校

- 引 率…小橋口誠也
- 選 手…工藤孔志郎(2年) 小橋口 航(2年)
村山 竣太(2年)
- 所在地…熊本県熊本市

九州地区代表

3年連続9回目

大分大学教育学部附属中学校

- 引 率…佐藤 秀典
- 選 手…和田 空大(3年) 工藤 七海(3年)
松岡 郁李(3年) 木内 きえ(3年)
今川 愛音(3年) 時松 道広(2年)
- 所在地…大分県大分市



九州地区代表

2年連続11回目

精道三川台中学校

- 引 率…柳原 悟
- 選 手…河邊 周(2年) 櫻井 琢仁(2年)
西 亨太(2年) 森田 悠元(2年)
- 所在地…長崎県長崎市

九州地区代表

2年ぶり21回目

福岡教育大学附属小倉中学校

- 引 率…田鶴菜津子
- 選 手…小川 璃光(3年) 菊地 のぞみ(3年)
宗 有梨紗(3年) 田原 太郎(3年)
横山 敦一(3年) 和田 真宙(3年)
- 所在地…福岡県北九州市

九州地区代表

初出場

熊本マリスト学園中学校

- 引 率…吉廣 誠
- 選 手…山下 紗季(3年) 櫻井 夢菜(3年)
井上 華乃(3年) 平岡光彩紀(3年)
河瀬衣央里(2年)
- 所在地…熊本県熊本市



高校の部

【論題】「日本は企業に対する正社員の解雇規制を緩和すべきである。是か非か」

※ここでいう緩和とは「人員整理の必要性」および「解雇回避努力義務の履行」を正社員の要件から除外することとする。

議論のポイント

今年の高校論題では「解雇」を切り口に労働問題や働き方に関する議論が展開されます。そもそも「解雇」とは、「雇用する側からの申し出で一方に労働契約を終了する」、いわゆる「クビを切る」ことを指します。解雇は法律では原則自由に行えますが、実際には正当な理由のない解雇や一方的な解雇は認められないという様々な制約があり、これを解雇規制といいます。

そもそも、なぜ解雇規制が必要なのでしょう？企業の視点に立ってみると、できるだけ柔軟に雇用や解雇を行い労働力を調整することが望ましいはずですが、それが弱立場にいる労働者の生活を保護することができなくなります。そこで解雇に制限を設け、労働者の生活を保護する役割を担っているのです。

解雇規制は主に正社員として雇われている労働者の雇用を安定させる一方で、その外にいる人、非正規労働者や失業者などの人々の立場を不安定にしているという指摘もあります。解雇が難しい場合、企業は採用の時点で慎重になるため、採用枠が抑制され、働かなくても働けない人が増えるというものです。また、労働市場全体でも労働者の移動が進まないことで、新しい産業が育ちにくくなっているという指摘もあります。このように、解雇規制は労働者にとっても一概に良い、悪いとは言いつらい存在なのです。今回の論題では、こうした両面を踏まえ、特に現代の日本で解雇規制の緩和が必要なのか、適切な基準はどこなのかを議論することになります。

解雇規制緩和を訴える肯定側からは、解雇が容易に行えることで採用が活発になり、結果として雇用が増えるというメリットが考えられます。他にも、採用が活発になることで再就職なども行いやすくなり、一度失業しても次の仕事を探せる、再チャレンジできる社会になるといった議論もありえます。逆に否定側からは、解雇規制が緩和されたとしても、一度解雇された労働者はなかなか再就職が難しく、かえって失業者が増えてしまうというデメリットが考えられます。解雇を恐れて企業側の不当な要求に我慢しなければならなくなるなど雇用の質に関するデメリットも出てくるかもしれません。

新卒採用のあり方や、「ブラック企業」問題をはじめとして、労働問題は日本社会にとっても、また我々一人一人にとっても避けては通れないテーマです。高校生の熱い議論が、こうした問題を社会全体で議論するきっかけの場となれば幸いです。

論題検討委員 竹久真也

- 北海道地区代表** 北嶺高等学校 (北海道)
札幌龍谷学園高等学校 (北海道)
- 東北地区代表** 福島県立会津高等学校 (福島県)
東北学院高等学校 (宮城県)
秋田県立能代高等学校 (秋田県)
- 関東甲信越地区代表** 筑波大学附属駒場高等学校 (東京都)
開成高等学校 (東京都)
慶應義塾高等学校 (神奈川県)
創価高等学校 (東京都)
渋谷教育学園幕張高等学校 (千葉県)
桜蔭高等学校 (東京都)
駿台甲府高等学校 (山梨県)
埼玉県立伊奈学園総合高等学校 (埼玉県)
- 東海地区代表** 愛知県立千種高等学校 (愛知県)
東海高等学校 (愛知県)
愛知県立岡崎高等学校 (愛知県)
南山高等学校女子部 (愛知県)
- 近畿・北陸地区代表** 滋賀県立膳所高等学校 (滋賀県)
関西創価高等学校 (大阪府)
奈良学園登美ヶ丘高等学校 (奈良県)
灘高等学校 (兵庫県)
明星高等学校 (大阪府)
- 中国・四国地区代表** 岡山白陵高等学校 (岡山県)
慶進高等学校 (山口県)
広島大学附属福山高等学校 (広島県)
岡山県立岡山大安寺中等教育学校 (岡山県)
- 九州地区代表** 福岡県立修猷館高等学校 (福岡県)
久留米大学附設高等学校 (福岡県)
青雲高等学校 (長崎県)
文徳高等学校 (熊本県)
精道三川台高等学校 (長崎県)
熊本県立熊本高等学校 (熊本県)

予選リーグ

1組

	膳所	青雲	桜蔭	札幌龍谷
膳所高(滋賀県)				
青雲高(長崎県)				
桜蔭高(東京都)				
札幌龍谷学園高(北海道)				

8月5日(土) 13:30~14:50

[5221教室] 膳所高肯定 - **否定** 札幌龍谷学園高
[5222教室] 青雲高肯定 - **否定** 桜蔭高

8月5日(土) 16:40~18:00

[5221教室] 桜蔭高肯定 - **否定** 膳所高
[5222教室] 札幌龍谷学園高肯定 - **否定** 青雲高

8月6日(日) 9:30~10:50

[5221教室] 膳所高肯定 - **否定** 青雲高
[5222教室] 桜蔭高肯定 - **否定** 札幌龍谷学園高

2組

	修猷館	渋谷幕張	広島大福山	能代
修猷館高(福岡県)				
渋谷教育学園幕張高(千葉県)				
広島大附属福山高(広島県)				
能代高(秋田県)				

8月5日(土) 13:30~14:50

[5223教室] 修猷館高肯定 - **否定** 能代高
[5224教室] 渋谷教育学園幕張高肯定 - **否定** 広島大附属福山高

8月5日(土) 16:40~18:00

[5223教室] 広島大附属福山高肯定 - **否定** 修猷館高
[5224教室] 能代高肯定 - **否定** 渋谷教育学園幕張高

8月6日(日) 9:30~10:50

[5223教室] 修猷館高肯定 - **否定** 渋谷教育学園幕張高
[5224教室] 広島大附属福山高肯定 - **否定** 能代高

3組

	岡山白陵	東海	駿台甲府	明星
岡山白陵高(岡山県)				
東海高(愛知県)				
駿台甲府高(山梨県)				
明星高(大阪府)				

8月5日(土) 13:30~14:50

[5301教室] 岡山白陵高肯定 - **否定** 明星高
[5302教室] 東海高肯定 - **否定** 駿台甲府高

8月5日(土) 16:40~18:00

[5301教室] 駿台甲府高肯定 - **否定** 岡山白陵高
[5302教室] 明星高肯定 - **否定** 東海高

8月6日(日) 9:30~10:50

[5401教室] 岡山白陵高肯定 - **否定** 東海高
[5402教室] 駿台甲府高肯定 - **否定** 明星高

4組

	千種	創価	東北学院	岡山大安寺
千種高(愛知県)				
創価高(東京都)				
東北学院高(宮城県)				
岡山大安寺中等(岡山県)				

8月5日(土) 13:30~14:50

[5304教室] 千種高肯定 - **否定** 岡山大安寺中等
[5305教室] 創価高肯定 - **否定** 東北学院高

8月5日(土) 16:40~18:00

[5304教室] 東北学院高肯定 - **否定** 千種高
[5305教室] 岡山大安寺中等肯定 - **否定** 創価高

8月6日(日) 9:30~10:50

[5404教室] 千種高肯定 - **否定** 創価高
[5405教室] 東北学院高肯定 - **否定** 岡山大安寺中等

5組

	筑波大駒場	奈良学登美	岡崎	熊本
筑波大附属駒場高(東京都)				
奈良学園登美ヶ丘高(奈良県)				
岡崎高(愛知県)				
熊本高(熊本県)				

8月5日(土) 13:30~14:50

[5321教室] 筑波大附属駒場高肯定 - **否定** 熊本高
[5322教室] 奈良学園登美ヶ丘高肯定 - **否定** 岡崎高

8月5日(土) 16:40~18:00

[5321教室] 岡崎高肯定 - **否定** 筑波大附属駒場高
[5322教室] 熊本高肯定 - **否定** 奈良学園登美ヶ丘高

8月6日(日) 11:10~12:30

[5221教室] 筑波大附属駒場高肯定 - **否定** 奈良学園登美ヶ丘高
[5222教室] 岡崎高肯定 - **否定** 熊本高

6組

	慶應義塾	関西創価	文徳	南山
慶應義塾高(神奈川県)				
関西創価高(大阪府)				
文徳高(熊本県)				
南山高女子部(愛知県)				

8月5日(土) 13:30~14:50

[5323教室] 慶應義塾高肯定 - **否定** 南山高女子部
[5324教室] 関西創価高肯定 - **否定** 文徳高

8月5日(土) 16:40~18:00

[5323教室] 文徳高肯定 - **否定** 慶應義塾高
[5324教室] 南山高女子部肯定 - **否定** 関西創価高

8月6日(日) 11:10~12:30

[5223教室] 慶應義塾高肯定 - **否定** 関西創価高
[5224教室] 文徳高肯定 - **否定** 南山高女子部

7組

	会津	久留米大附	灘	伊奈総合
会津高(福島県)				
久留米大附設高(福岡県)				
灘高(兵庫県)				
伊奈学園総合高(埼玉県)				

8月5日(土) 13:30~14:50

[5401教室] 会津高肯定 - **否定** 伊奈学園総合高
[5402教室] 久留米大附設高肯定 - **否定** 灘高

8月5日(土) 16:40~18:00

[5401教室] 灘高肯定 - **否定** 会津高
[5402教室] 伊奈学園総合高肯定 - **否定** 久留米大附設高

8月6日(日) 11:10~12:30

[5401教室] 会津高肯定 - **否定** 久留米大附設高
[5402教室] 灘高肯定 - **否定** 伊奈学園総合高

8組

	開成	慶進	北嶺	精道三川台
開成高(東京都)				
慶進高(山口県)				
北嶺高(北海道)				
精道三川台高(長崎県)				

8月5日(土) 13:30~14:50

[5404教室] 開成高肯定 - **否定** 精道三川台高
[5405教室] 慶進高肯定 - **否定** 北嶺高

8月5日(土) 16:40~18:00

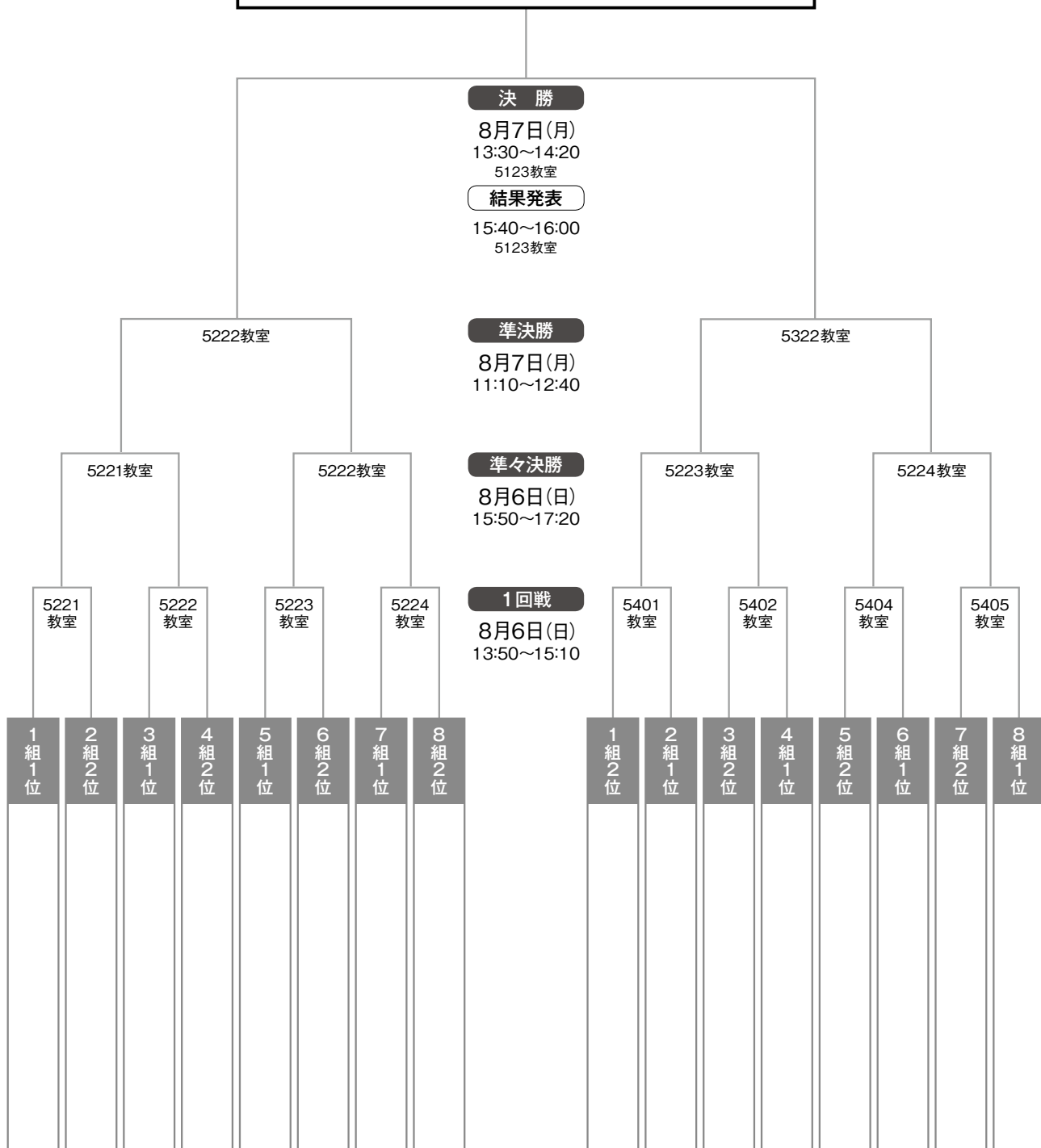
[5404教室] 北嶺高肯定 - **否定** 開成高
[5405教室] 精道三川台高肯定 - **否定** 慶進高

8月6日(日) 11:10~12:30

[5404教室] 開成高肯定 - **否定** 慶進高
[5405教室] 北嶺高肯定 - **否定** 精道三川台高

決勝トーナメント

優[👑]勝



試合結果の
確認はこちらへ!

※一部の機種ではご覧いただけ
ない場合があります。

第22回ディベート甲子園 速報サイト
<http://koshien2017.nade.jp/>



FRESH! by CyberAgentで決勝戦・表彰式を生中継
<https://freshlive.tv/dkoshien>



北海道地区代表

18年連続18回目

北嶺高等学校

- 引 率…石山 昌周
- 選 手…前田 泰佑(3年) 白浜 裕貴(3年)
七戸 将生(3年) 清水 裕貴(2年)
真鍋 洸生(1年) 今村 涼太(1年)
- 所 在 地…北海道札幌市

北海道地区代表

3年連続3回目

札幌龍谷学園高等学校

- 引 率…小野 公子
- 選 手…村上 攝(2年) 垣原 春香(2年)
下田 亜弥(1年) 佐藤 詩織(2年)
- 所 在 地…北海道札幌市

東北地区代表

13年連続13回目

福島県立会津高等学校

- 引 率…中村 涼子
- 選 手…芥川 理礼(2年) 佐野 未有(2年)
金子 楓(1年) 滝谷 諒(1年)
宗川 隼人(1年) 赤座真奈美(1年)
- 所 在 地…福島県会津若松市

東北地区代表

4年ぶり11回目

東北学院高等学校

- 引 率…名越 幸生
- 選 手…鈴木 崇弘(3年) 茶野木貴斗(2年)
工藤 僚真(2年) 武川 怜(1年)
多々良 曜(1年)
- 所 在 地…宮城県仙台市



東北地区代表

2年ぶり16回目

秋田県立能代高等学校

- 引 率…鈴木 瑞穂
- 選 手…寺田 彩希(2年) 佐藤 ひな(2年)
山下菜々子(2年) 加藤 玲奈(1年)
- 所 在 地…秋田県能代市

関東甲信越地区代表

2年連続2回目

筑波大学附属駒場高等学校

- 引 率…尾和 保弘
- 選 手…尾和龍之介(2年) 坂田 唯純(2年)
木下 祥(2年) 山上 将哉(2年)
増田 和(2年) 松岡 大樹(2年)
- 所 在 地…東京都世田谷区

関東甲信越地区代表

6年連続14回目

開成高等学校

- 引 率…神尾雄一郎
- 選 手…安倍 拓真(2年) 石井 龍生(2年)
岩倉 大雄(2年) 小坂井洗明(2年)
清水 瞭(2年) 松崎 優一(1年)
- 所 在 地…東京都荒川区

関東甲信越地区代表

5年連続8回目

慶應義塾高等学校

- 引 率…古川 晴彦・持原なみ子
- 選 手…井出 真広(3年) 阿部 昂(3年)
古田中 穰(3年) 石井 和仁(2年)
北川 和樹(2年) 根本 堅(2年)
- 所 在 地…神奈川県横浜市

関東甲信越地区代表

22年連続22回目

創価高等学校

- 引 率…大矢 英行
- 選 手…皆川 果南(1年) 小山内 明(2年)
森田 清志(2年) 吉井 太郎(2年)
太田 浩平(2年) 浅野 文明(3年)
- 所 在 地…東京都小平市

関東甲信越地区代表

2年ぶり8回目

渋谷教育学園幕張高等学校

- 引 率…高橋 淑哉・加藤 仁恵
- 選 手…金井 聡志(2年) 藤本 一輝(2年)
沢田 純一(2年) 本田 彩葉(2年)
上田 開(2年) 白澤 幸樹(1年)
- 所 在 地…千葉県千葉市

関東甲信越地区代表

初出場

桜蔭高等学校

- 引 率…面川 孝信
- 選 手…金柿 日菜子(2年) 芳仲 琴音(2年)
塩山 祈(2年) 塩谷 海(2年)
- 所 在 地…東京都文京区

関東甲信越地区代表

5年ぶり10回目

駿台甲府高等学校

- 引 率…新田 真也
- 選 手…原田 道風(2年) 田邊 学(2年)
玉木 智久(2年) 上條 彩朱(2年)
渡邊 夏蓮(2年) 加藤舜一郎(2年)
- 所 在 地…山梨県甲府市

関東甲信越地区代表

6年ぶり2回目

埼玉県立伊奈学園総合高等学校

- 引 率…小野寺 求
- 選 手…西野 真悠(2年) 佐藤 千紘(1年)
八木橋千乃(1年)
- 所 在 地…埼玉県北足立郡

東海地区代表

3年ぶり18回目

愛知県立千種高等学校

- 引 率…佐藤 彰紀
- 選 手…小柳出侑真(2年) 塚本 陽向(2年)
伊規須俊也(2年) 丸山悠紀乃(3年)
加藤 聡(2年) 小淵 太暉(1年)
- 所 在 地…愛知県名古屋市

東海地区代表

2年ぶり20回目

東海高等学校

- 引 率…村上 彰慶・渡辺 真澄
- 選 手…安藤 優大(2年) 須田 颯人(2年)
鷲見 宜彦(2年) 久利 一翔(1年)
平田 勤(2年) 杉山 優人(1年)
- 所 在 地…愛知県名古屋市



東海地区代表

5年連続14回目

愛知県立岡崎高等学校

- 引 率…彦坂 和秀
- 選 手…中野 旭(2年) 杉下 華海(2年)
青山 晃大(2年) 西山 直希(2年)
平山 智也(2年) 大村 梨紗(1年)
- 所 在 地…愛知県岡崎市

東海地区代表

4年連続9回目

南山高等学校女子部

- 引 率…糟屋 徹
- 選 手…吉岡 暁子(2年) 山田 祐佳(2年)
多田 彩乃(1年) 武市 理央(1年)
- 所 在 地…愛知県名古屋市

近畿・北陸地区代表

2年連続13回目

滋賀県立膳所高等学校

- 引 率…田井 直樹
- 選 手…梅田 利奈(3年) 平賀 敦也(3年)
福田 京司(2年) 中西 祐希(2年)
藤井 優斗(1年) 山本 未羽(1年)
- 所在地…滋賀県大津市

近畿・北陸地区代表

4年連続8回目

関西創価高等学校

- 引 率…森田 尚子
- 選 手…松元 誉志(2年) 伊達 裕太(3年)
堀川 伸(2年) 西村 優佳(2年)
小林 陽子(2年) 松名 裕一(1年)
- 所在地…大阪府交野市

近畿・北陸地区代表

2年ぶり5回目

奈良学園登美ヶ丘高等学校

- 引 率…石原 守
- 選 手…狭川 文菜(2年) 佐藤 真奈(2年)
乗本 みろく(2年) 岩田 百花(1年)
- 所在地…奈良県奈良市

近畿・北陸地区代表

2年ぶり5回目

灘高等学校

- 引 率…宮田幸一良
- 選 手…前野優太郎(2年) 知念 慶(2年)
萩原 悠太(1年) 吉川 隆裕(1年)
岸本 涉(1年) 北口 智章(3年)
- 所在地…兵庫県神戸市

近畿・北陸地区代表

3年連続13回目

明星高等学校

- 引 率…岡本 泰明
- 選 手…澤居 直紀(2年) 平尾 太郎(2年)
阿部慎太郎(2年) 北原陽太郎(1年)
伊藤 璃(1年) 巽 弘(1年)
- 所在地…大阪府大阪市



中国・四国地区代表

6年連続14回目

岡山白陵高等学校

- 引 率…後藤 文昭
- 選 手…石川 あおい(2年) 井上 修平(2年)
江谷 朋美(1年) 小比賀香子(1年)
高橋 奈々美(1年) 山本 梓紗(1年)
- 所在地…岡山県赤磐市

中国・四国地区代表

2年ぶり2回目

慶進高等学校

- 引 率…西山 智彦
- 選 手…杉野 正樹(2年) 上田 倫也(1年)
内山 絢登(1年) 角光 慧美(1年)
林 裕子(1年) 足立季美果(1年)
- 所在地…山口県宇部市

中国・四国地区代表

初出場

広島大学附属福山高等学校

- 引 率…石橋 一昂
- 選 手…佐藤 良太(3年) 工藤 遥(3年)
竹内 大甫(3年) 笹川 創平(3年)
北山 涼華(1年)
- 所在地…広島県福山市

中国・四国地区代表

2年連続2回目

岡山県立岡山大安寺中等教育学校

- 引 率…横山 雅子
- 選 手…松富 由奈(5年) 岩谷 紗来(5年)
河田 玲奈(5年) 黒田 桃花(5年)
梶田 朝美(5年) 安井 涼葉(5年)
- 所在地…岡山県岡山市

九州地区代表

19年連続19回目

福岡県立修猷館高等学校

- 引 率…二宮 浩司
- 選 手…

雫本 幹哉 (3年)	坂下 夏帆 (3年)
白石 遼馬 (3年)	井原 渉 (3年)
田中 雄大 (3年)	末原 佳樹 (3年)
- 所在地…福岡県福岡市

九州地区代表

2年連続5回目

久留米大学附設高等学校

- 引 率…秋吉 美穂
- 選 手…

渡邊 竜也 (2年)	松田 拓巳 (1年)
有吉 玲 (1年)	宇野 詩織 (1年)
福嶋 恒樹 (1年)	
- 所在地…福岡県久留米市

九州地区代表

14年連続18回目

青雲高等学校

- 引 率…橋口 絢実
- 選 手…

徳永 亜希 (2年)	高島 航 (2年)
福田 敏慧 (2年)	藤本 俊介 (1年)
岩永 真歩 (1年)	小松原彩香 (1年)
- 所在地…長崎県西彼杵郡

九州地区代表

4年連続4回目

文徳高等学校

- 引 率…松本千登世
- 選 手…

吉野日奈子 (2年)	早崎 美桜 (2年)
久島 華蕉 (2年)	松田 悠希 (2年)
星子 貴洸 (2年)	谷 勇人 (2年)
- 所在地…熊本県熊本市

九州地区代表

2年連続4回目

精道三川台高等学校

- 引 率…柳原 悟
- 選 手…

佐藤 優樹 (1年)	中村 祥己 (1年)
------------	------------
- 所在地…長崎県長崎市

九州地区代表

2年ぶり14回目

熊本県立熊本高等学校

- 引 率…龍宮 伸隆
- 選 手…

小山田雪乃 (2年)	小柳 レナ (2年)
------------	------------
- 所在地…熊本県熊本市





全国中学・高校ディベート選手権ルール

第1条 試合の進行

- この大会は、日本語で行います。フォーマットは、別表1・別表2の通りです。

(別表1) 中学の部 試合フォーマット

肯定側立論	4分	否定側準備時間	1分
		否定側質疑	2分
		否定側準備時間	1分
		否定側立論	4分
肯定側準備時間	1分		
肯定側質疑	2分	否定側準備時間	1分
		否定側第1反駁	3分
肯定側準備時間	2分		
肯定側第1反駁	3分	否定側準備時間	2分
		否定側第2反駁	3分
肯定側準備時間	2分		
肯定側第2反駁	3分		

(別表2) 高校生試合フォーマット

肯定側立論	6分	否定側準備時間	1分
		否定側質疑	3分
		否定側準備時間	1分
		否定側立論	6分
肯定側準備時間	1分		
肯定側質疑	3分	否定側準備時間	1分
		否定側第1反駁	4分
肯定側準備時間	2分		
肯定側第1反駁	4分	否定側準備時間	2分
		否定側第2反駁	4分
肯定側準備時間	2分		
肯定側第2反駁	4分		

- この大会では、主催者が定めた論題について試合を行います。論題に付帯文がある場合には、論題の一部として扱います。
- この大会では、原則として4名の選手が立論・質疑・第1反駁・第2反駁の各ステージをそれぞれ担当するものとし、質疑における応答は立論担当者が担当するものとします。出場選手については、別に定める細則A(出場選手に関する細則)に従わなくてはなりません。
- 試合は、司会者の指示によって進行します。選手、聴衆は、司会者の指示に従わなくてはなりません。

第2条 各ステージの役割

- 肯定側立論は、論題を肯定するためのプランを示し、そのプランからどのようなメリットが発生するかを論証するものとします。否定側立論は、現状維持の立場をとるものとし、主に肯定側のプランからどのようなデメリットが発生するかを論証するものとします。
- 質疑では立論の内容などについて質問を行い、質疑での応答は立論の補足として扱われます。
- 反駁は、主に、メリット(あるいはデメリット)に対する反論、反論に対する再反論、メリットとデメリットの大きさの比較を行います。

第3条 議論における注意事項

- 議論の論証のために、文献等をスピーチで引用することができます。引用に当たっては、別に定める細則B(証拠資料に関する細則)に従わなくてはなりません。なお、図や表を証拠資料として見せることはできません。
- 質疑で明らかとなった情報を議論に生かすためには、その後の立論や反駁で改めて述べる必要があります。
- 相手が持ち出した主張・根拠に反論する場合を除き、立論で提出されず反駁で新たに提出された主張や根拠は、「新しい議論」と呼ばれ無効となります。第1反駁で出せる反論を第2反駁ではじめて出すことは「遅すぎる反論」と呼ばれ無効となります。

第4条 反則行為と処分

選手等に反則行為があった場合、別に定める細則C(反則に関する細則)にもとづき、敗戦や大会失格等の処分の対象となります。

第5条 判定

試合の判定は、別に定める細則D(判定に関する細則)にもとづき審判が行います。メリットがデメリットより大きいと判断される場合には肯定側の勝利、そうでない場合には否定側の勝利となります。引き分けはありません。

第6条 コミュニケーション点

- 各審判は、勝敗とは別に、各ステージでのコミュニケーションの要素を評価した「コミュニケーション点」を採点します。コミュニケーション点は、立論・質疑・応答・第1反駁・第2反駁のそれぞれについて次の5段階で採点し、合計したものをチームのコミュニケーション点とします。
 - 5点 非常に優れている
 - 4点 優れている
 - 3点 普通
 - 2点 改善の必要がややある
 - 1点 改善の必要がかなりある
- 各審判は、各チームにマナーに反する行為があった場合、チームのコミュニケーション点から最大5点を減点することができます。

細則A (出場選手に関する細則)

1. 大会の登録選手は4～6名、各試合の出場選手は4名とします。ただし、事情がある場合には2名あるいは3名での登録及び試合出場を認めることがあります。認められるのは、4名以上が出場するよう努力をしたにもかかわらず、やむをえず4名以上の出場ができなかった場合に限られます。
2. 2名あるいは3名での大会登録を希望するチームは、大会登録時に申込用紙に事情を記入しなければなりません。主催者が事情を認めた場合には、大会への出場が認められます。
3. 4～6名で登録したチームが、大会当日になって2名あるいは3名で試合出場を希望する場合には、主催者にあらかじめ事情を説明しなければなりません。主催者が事情を認めた場合には、大会への出場が認められます。
4. 試合開始時点で2名以上の選手が揃わない場合には、その試合は敗戦となります。
5. 2名で試合に出場するチームは、立論と質疑を別の選手が担当し、第1反駁と第2反駁を別の選手が担当することとします。
6. 3名で試合に出場するチームは、立論、第1反駁、第2反駁を異なる選手が担当し、第1反駁もしくは第2反駁を担当する者が質疑を担当することとします。

細則B (証拠資料に関する細則)

1. 証拠資料として認められるものは、公刊された出版物で第三者が入手可能なもの、及び、政府の公表した報告書などにこれに準ずるもの——インターネット上の情報、独自のインタビューや調査結果など——のみとします。
なお、図や表の証拠資料を引用する場合も口頭で読み上げるものとし、視覚的に掲示することは認められません。
2. 外国語の文献をそのまま引用すること、もしくは独自に翻訳して引用することは認められません。
3. 試合で引用する証拠資料については、引用する文面(中略した場合は中略した部分の文面を含む)を記録し、請求に応じて提出できるように用意しておかなければなりません。
4. 試合で引用する証拠資料については、引用した証拠資料を第三者が確認できるよう、出典に関する情報を記録し、請求に応じて提出できるように用意しておかなければなりません。
出典に関する情報とは、例えば、別表3の内容を指します。
5. 証拠資料を引用する際には次の要件を満たさなければなりません。インターネット上の情報を引用する際も同様です。
 - 著者の肩書きと氏名・発行年を示すこと
 - 証拠資料が引用されている部分を明示すること
6. 証拠資料を引用する際には、原典の文面をそのまま引用しなければなりません。
中略する場合は、元の文意を損なわない範囲で行わなければなりません。また、中略を行ったことを引用中に明示しなければなりません。
7. 前項までに定める要件が満たされない場合には、引用された証拠資料の信憑性は低く評価され、あるいは証拠資料として引用されなかったものと判断されます。
8. 各チームは、自分たちの準備時間中に、相手チームがそれまでに引用した証拠資料の提出を求められます。提出された証拠資料は、その準備時間の終了までに返却しなければなりません。

9. 審判あるいは相手チームから、それまでに引用した証拠資料の提出を求められた場合、各チームは証拠資料を提出しなくてはなりません。

別表3

引用する資料	記録すべき情報(例)
書籍	著者の肩書きと氏名・書名・発行年・引用部分のページ数 ※編著の場合は、肩書きと氏名は編者と該当部分の著者について記録すること。
雑誌記事	著者の肩書きと氏名・記事のタイトル・掲載雑誌名・掲載雑誌の巻号・発行年・引用部分のページ数
インターネット上の情報	著者の肩書きと氏名・サイト名・情報掲載日付・サイトにアクセスした日付・引用サイトのURL

細則C (反則に関する細則)

1. 次の行為があったときは反則として、悪質な場合、審判団の判断でその試合を敗戦にすることがあります。
 1. 選手が、試合前に届けられたステージと異なるステージを担当したとき。
 2. スピーチ中の選手に対して、他の選手が口頭でアドバイスを行ったとき。
 3. 私語等により、スピーチの聞き取りを妨げる行為を行ったとき。
 4. 審判や相手チームから証拠資料の提出が求められた際、これに応じないとき。
 5. 証拠資料を捏造(ねつぞう)して使用したとき。
 6. 証拠資料として元の文章を改変したものを引用したり、元の文意を変えるような不適切な省略をしたとき。
 7. 選手等が司会者や審判の指示に従わず、試合の継続が困難と判断される時。
 8. その他、試合中、選手に著しくマナーに反する行為があったとき。以上の反則行為があったと考えられる場合、出場選手は試合中あるいは肯定側第2反駁直後に審判に申し出ることができます。その際は、相手チームのどの行為が、どの反則行為に該当するのかを明示しなければなりません。
2. 前項所定の行為のほか、次の行為があったときは反則として、主催者の判断でその試合の敗戦または大会の失格にすることがあります。
 1. 大会に出場選手として登録されていない者が出場したとき。
 2. 選手が、試合中にチームの選手以外の者と相談をしたとき。
 3. 選手が、試合中に電話・パソコン等を使用して通信したとき。
 4. 大会期間中、選手に著しくマナーに反する行為があったとき。
 5. その他、選手並びにチームの関係者が大会運営に重大な支障を生じさせたとき。

細則D (判定に関する細則)

1. 勝敗の判定は審判によるものとします。
2. 審判は個々の論点について以下のように判断を行います。
 1. 一方のチームが根拠を伴って主張した点について、相手チームが受け入れた場合、あるいは反論を行わなかった場



全国中学・高校ディベート選手権ルール

合、根拠の信憑性をもとに審判がその主張の採否を判断します。

2. 一方のチームの主張に対して相手チームから反論があった場合には、審判は両者の根拠を比較して主張の採否を決定します。
 3. 証拠資料については、細則Bの5項または6項の規定を踏まえて、資料の内容や出典の信憑性をもとに評価します。
 4. 立論で提出されず、反駁で新たに提出された主張・根拠(新しい議論)は、判定の対象から除外します。ただし、相手の持ち出した主張・根拠に反論する必要から生じた主張・根拠はこの場合にあたりません。
 5. 相手チームの主張・根拠に対する反論のうち、第1反駁で行えたにもかかわらず第2反駁で初めて提出されたもの(遅すぎる反論)は、判定の対象から除外します。
3. 審判は、個々のメリットあるいはデメリットについて、以下の3点について検証を行い、大きさの判断を行います。
1. プランを導入しなければ、そのメリットあるいはデメリットは発生しないこと。
 2. プランを導入すれば、そのメリットあるいはデメリットが発生すること。
 3. そのメリットあるいはデメリットが重要・深刻な問題であること。
4. 審判は、個々のメリット、デメリットの判断をもとに、メリットの合計とデメリットの合計の比較を行い、どちらに投票するかを決定します。その際、比較の価値基準が試合中に提示されていれば、その立証の程度に応じて反映します。判断基準が示されなかった場合は、審判の判断に委ねられます。
5. 審判は、細則Bの5項または6項(証拠資料が満たすべき要件)の判断を行うため、準備時間または判定協議の間に、その試合で引用された証拠資料の提出を求めることができます。
6. 審判の判定は覆りません。但し、細則Cの2で定める反則行為が行われたと主催者が判断した場合はこの限りではありません。
7. 審判は、立論・質疑・応答・第1反駁・第2反駁のそれぞれについて、話し方、スピーチの速度、議論の構成などを総合し、分かりやすいスピーチであったかという観点からコミュニケーション点を採点します。質疑・応答のステージでは、相手方とかみ合ったやり取りをしているかという観点についてもコミュニケーション点において評価します。
8. 審判は、選手の行為のうちディベーターとして期待されるマナーに反する行為や、細則C所定の反則行為があった場合、それらが敗戦ないし失格に至らない程度であるときでも、当該選手が所属するチームのコミュニケーション点から最大5点を減点することができます。

ディベート甲子園ガイドライン

ディベート甲子園の試合は、「全国中学高校ディベート選手権ルール」にもとづいて行われます。このガイドラインは、ルールには定めていないことで、選手の皆さんに連盟が推奨する事項を示すものです。

1. コミュニケーション

選手は、発言内容を審判・聴衆・相手チームにわかりやすく伝えるようにしましょう。発言内容がどんなに優れたものであっても、審判が発言内容を適切に理解できなければ判定に考慮されません。わかりやすく伝えるため、以下に具体的な留意点を示します。

1) 話し方…選手は、明瞭な発音、適切な速度などを心がけ、十分な声量でスピーチを行いましょう。日頃、滑舌をよくするための練習を心がけましょう。

2) スピーチの構成…例えばナンバリング・ラベリング・サインポストイングなどの手法があります。ナンバリングとは、それぞれの議論に番号を付けその区切りと数を明確にすることです。ラベリングとは、それぞれの議論にその内容を端的に表す見出し(ラベル)を付けることです。サインポストイングとは、これから話す内容がどの論点に対するものであるのかを、論点の番号や見出しを用いて示すものです。選手は、ナンバリング・ラベリング・サインポストイングを適切に行い、わかりやすいスピーチを行いましょう。

3) スピーチの姿勢…原稿ばかりを見るのではなく、顔を上げて、審判・聴衆に伝わっているかを適宜確認しながらスピーチを行うようにしましょう。

4) スピーチの速度…聞きやすいスピーチの速度は、およそ1分間に350～400字程度といわれています。400字程度を目安に、練習をしておきましょう。

2. メリット・デメリットの数

根拠を十分に述べず主張だけを述べても、ディベートでは意味がありません。限られた時間の中で立証するので、メリット・デメリットは1つか2つにするようにしましょう。判定では、メリット・デメリットの数ではなく立証されたメリット・デメリットの大きさが問われます。

3. 定義とプラン

論題の付帯文で、中学校論題については定義とプランを、高等学校論題については定義を示してあります。この付帯文にもとづいて試合を進めてください。付帯文に定めてある事項については、立論で改めて述べる必要はありません。中学校論題について、肯定側は、付帯文に示されたプランに新たな事項をプランとして立論で付け加えることができます。高等学校論題については、肯定側が立論でプランを示してください。肯定側のプランは論題の範囲内になければなりません。肯定側のプランは立論で示されたプランが論題の範囲を越えているか否かは、試合の議論にもとづき審判が判断します。論題外と判断されたプランからメリット・デメリットが発生したとしても、そのメリット・デメリットは無効となります。否定側がプランの詳細について知りたい場合は、質疑で肯定側に尋ねるようにしましょう。

4. 立論の構成例

立論は、わかりやすく構成を工夫してください。

参考のために、構成例を示します。

[肯定側立論の構成例1]

メリットは～です。(ラベルで示します) プランを実施すると～というメリットが発生します。そのメリットは極めて重要なものです。現状のままプランを取らなければこのメリットは発生しません。

[肯定側立論の構成例2]

メリットは～です。(ラベルで示します) 現状のままでは解決が難しい～という問題があります。その問題は極めて深刻な問題です。そこで、以下のプランを提案します。このプランによって、問題は解決されます。

[否定側立論の例]

デメリットは～です。(ラベルで示します) プランを実施すると～というデメリットが発生します

そのデメリットは極めて深刻なものです

現状のままプランを取らなければこのデメリットは発生しません。



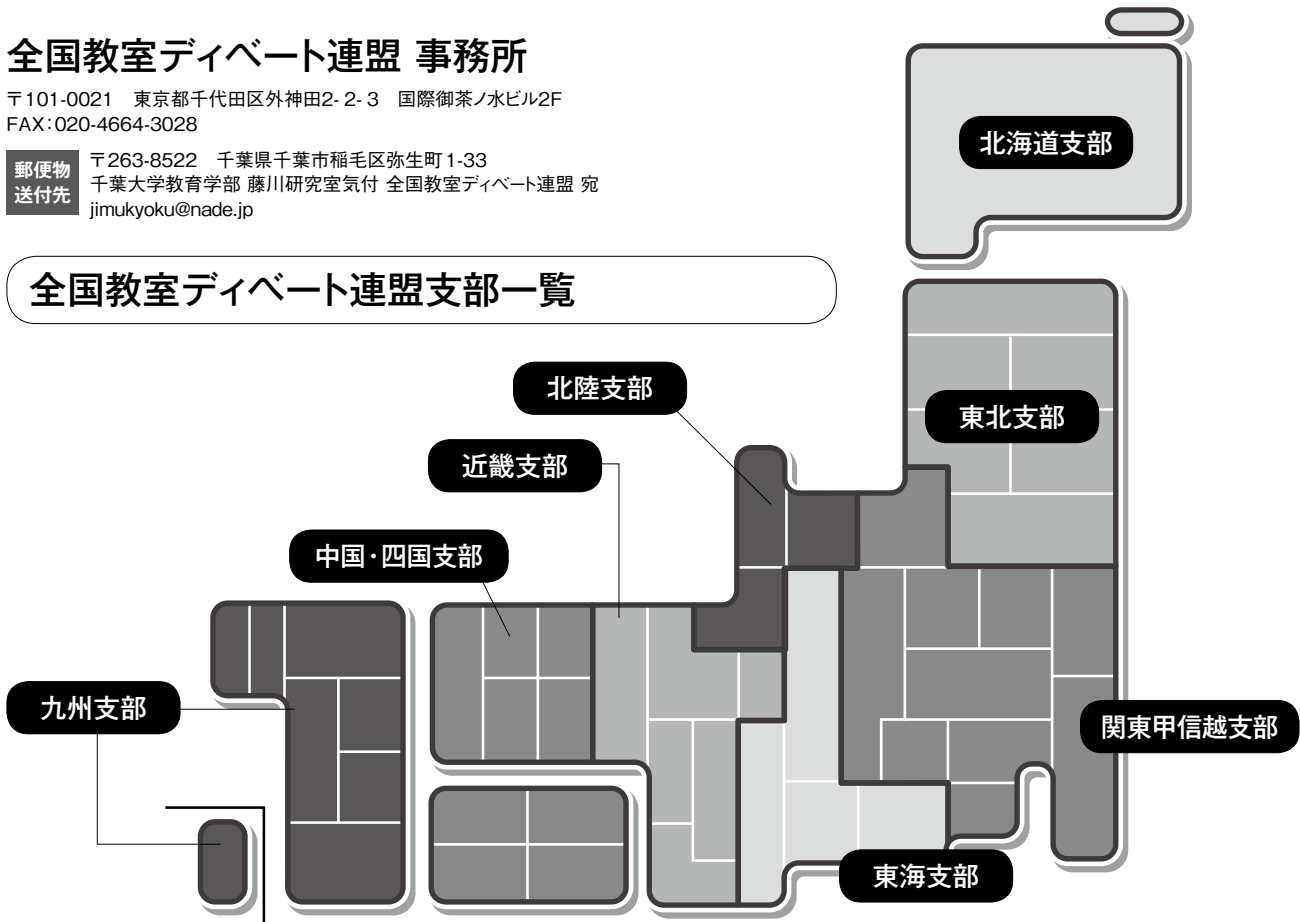
全国教室ディベート連盟・連絡先

全国教室ディベート連盟 事務所

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-2-3 国際御茶ノ水ビル2F
FAX:020-4664-3028

郵便物 〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33
送付先 千葉大学教育学部 藤川研究室気付 全国教室ディベート連盟 宛
jimukyoku@nade.jp

全国教室ディベート連盟支部一覧



北海道支部

(北海道)

支部長: 佐々木智之
〒061-2284 札幌市南区藤野4条2丁目4-46
佐々木智之方
TEL/FAX:011-592-0702
✉ tsasaki@hus.ac.jp
🌐 <http://prosv9.tok2.com/~nadehokkaido/>

東海支部

(愛知・岐阜・三重・静岡)

支部長: 吉田あけみ
〒470-0136 愛知県日進市竹の山3丁目2005番地
榎山女学園大学人間関係学部 吉田あけみ気付
TEL:0561-74-1466(直通) FAX:0561-74-3206(学科事務室)
✉ toukai.nade@gmail.com
🌐 <http://tokai.nade.jp/>

東北支部

(青森・秋田・岩手・山形・宮城・福島)

支部長: 江間史明
〒990-8560 山形市小白川町1-4-12
山形大学地域教育文化学部 江間研究室気付
TEL/FAX:023-628-4390
✉ tohoku@nade.jp
🌐 <http://tohoku.nade.jp/>
<https://www.facebook.com/nade.tohoku>

近畿支部

(大阪・京都・滋賀・奈良・和歌山・兵庫)

支部長: 田中曜次
〒607-8175 京都市山科区大宅山田町34
京都橘大学 池田修気付
TEL:075-574-4232(直通) FAX:075-574-4232
✉ ikeda@tachibana-u.ac.jp
🌐 <http://nade-kinki.main.jp/>

関東甲信越支部

(東京・神奈川・千葉・埼玉・茨城・栃木・群馬・山梨・新潟・長野)

支部長: 今村肇
〒114-8574 東京都北区中里3-12-2
女子聖学院高校 筑田周一気付
TEL:03-3917-2277(学校事務室) FAX:020-4624-1650
✉ kanto@nade.jp
🌐 <http://nade-kanto.info/>

中国・四国支部

(岡山・広島・山口・島根・鳥取・香川・愛媛・徳島・高知)

支部長: 坂田好保
〒709-0715 岡山県赤磐市勢力588
岡山白陵中学校・高等学校 坂田好保気付
TEL:086-995-1255(代表) FAX:086-995-1257
✉ nade.debate.cs@gmail.com
🌐 <http://nade-chugokushikoku-debate.blog.jp/>

北陸支部

(富山・石川・福井)

支部長: 宮城信(今大会終了後に就任予定)
〒921-8515 石川県金沢市泉本町3丁目111番地
金沢高等学校 伊井昌彦気付
TEL:076-242-3321(代表) FAX:076-243-7321
✉ hokuriku_debate@yahoo.co.jp
🌐 http://blog.livedoor.jp/debate_hokurikusibu/

九州支部

(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄)

支部長: 井上奈良彦
〒860-0025 熊本市中央区紺屋町1丁目1番1号
クラブンスクール気付
TEL:096-247-6122
✉ nade-q@fl.main.jp
🌐 <http://nade-q.main.jp/>



過去の論題と優勝校

中学 の部

- 第1回 1996年 「日本はサマータイム制を導入すべし。是か非か」
優勝：渋谷教育学園幕張高校附属中学校(千葉)※初優勝
- 第2回 1997年 「日本は選挙の棄権に罰則を設けるべし。是か非か」
優勝：横浜市立若葉台西中学校(神奈川)※初優勝
- 第3回 1998年 「日本はごみ収集を有料化すべきである。是か非か」
優勝：創価中学校(東京)※初優勝
- 第4回 1999年 「日本はサマータイム制を導入すべきである。是か非か」
優勝：創価中学校(東京)※2年連続2回目
- 第5回 2000年 「日本は死刑制度を廃止すべきである。是か非か」
優勝：小牧市立光ヶ丘中学校(愛知)※初優勝
- 第6回 2001年 「日本は環境税を導入すべきである。是か非か」
優勝：創価中学校(東京)※2年ぶり3回目
- 第7回 2002年 「日本は未成年者の携帯電話使用を大幅に制限すべきである。是か非か」
優勝：会津若松市立第二中学校(福島)※初優勝
- 第8回 2003年 「地方自治体は中学生以上による住民投票制度を制定すべきである。是か非か」
優勝：青雲中学校(長崎)※初優勝
- 第9回 2004年 「日本は救急車の利用を有料化すべきである。是か非か」
優勝：九州国際大学付属中学校(福岡)※初優勝
- 第10回 2005年 「日本はレジ袋税を導入すべきである。是か非か」
優勝：滝中学校(愛知)※初優勝
- 第11回 2006年 「日本はすべての動物園を廃止すべきである。是か非か」
優勝：東海中学校(愛知)※初優勝
- 第12回 2007年 「日本は小売店の深夜営業を禁止すべきである。是か非か」
優勝：創価中学校(東京)※6年ぶり4回目
- 第13回 2008年 「日本は中学生以下の携帯電話の使用を禁止すべきである。是か非か」
優勝：創価中学校(東京)※2年連続5回目
- 第14回 2009年 「日本はすべての乗用自動車を電気自動車に切り換えるべきである。是か非か」
優勝：東海中学校(愛知)※3年ぶり2回目
- 第15回 2010年 「日本はペットの売買を禁止すべきである。是か非か」
優勝：岡山白陵中学校(岡山)※初優勝
- 第16回 2011年 「日本は選挙の棄権に罰則を設けるべきである。是か非か」
優勝：創価中学校(東京)※3年ぶり6回目
- 第17回 2012年 「日本は救急車の利用を有料化すべきである。是か非か」
優勝：東海中学校(愛知)※3年ぶり3回目
- 第18回 2013年 「日本は飲食店にドギーバッグの常備を義務づけるべきである。是か非か」
優勝：創価中学校(東京)※2年ぶり7回目
- 第19回 2014年 「日本は捕鯨を禁止すべきである。是か非か」
優勝：創価中学校(東京)※2年連続8回目
- 第20回 2015年 「日本は刑事事件における実名報道を禁止すべきである。是か非か」
優勝：開成中学校(東京)※初優勝
- 第21回 2016年 「日本は地方公共団体の首長の多選を禁止すべきである。是か非か」
優勝：岡山白陵中学校(岡山)※6年ぶり2回目

高校 の部

第1回
1996年

「日本は首相公選制を導入すべし。是か非か」
優勝:江戸川学園取手高校(茨城)※初優勝

第2回
1997年

「日本は首都機能を移転すべし。是か非か」
優勝:創価高校(東京)※初優勝

第3回
1998年

「日本は積極的安楽死を法的に認めるべきである。是か非か」
優勝:東海高校(愛知)※初優勝

第4回
1999年

「日本は刑事裁判に陪審制を導入すべきである。是か非か」
優勝:東海高校(愛知)※2年連続2回目

第5回
2000年

「日本はすべての原子力発電を代替発電に切り替えるべきである。是か非か」
優勝:県立岐阜高校(岐阜)※初優勝

第6回
2001年

「日本は道州制を導入すべきである。是か非か」
優勝:県立修猷館高校(福岡)※初優勝

第7回
2002年

「日本は遺伝子組み換え食品の販売を禁止すべきである。是か非か」
優勝:創価高校(東京)※5年ぶり2回目

第8回
2003年

「日本は積極的安楽死を法的に認めるべきである。是か非か」
優勝:創価高校(東京)※2年連続3回目

第9回
2004年

「日本はすべての原子力発電を代替発電に切り替えるべきである。是か非か」
優勝:創価高校(東京)※3年連続4回目

第10回
2005年

「日本は炭素税を導入すべきである。是か非か」
優勝:県立膳所高校(滋賀)※初優勝

第11回
2006年

「日本は道州制を導入すべきである。是か非か」
優勝:県立会津高校(福島)※初優勝

第12回
2007年

「日本は18歳以上の国民に選挙権・被選挙権を認めるべきである。是か非か」
優勝:創価高校(東京)※3年ぶり5回目

第13回
2008年

「日本は労働者派遣を禁止すべきである。是か非か」
優勝:南山高校女子部(愛知)※初優勝

第14回
2009年

「日本は国会を一院制にすべきである。是か非か」
優勝:早稲田大学高等学院(東京)※初優勝

第15回
2010年

「日本は積極的安楽死を法的に認めるべきである。是か非か」
優勝:洛南高校(京都)※初優勝

第16回
2011年

「日本は道州制を導入すべきである。是か非か」
優勝:北嶺高校(北海道)※初優勝

第17回
2012年

「日本は死刑制度を廃止すべきである。是か非か」
優勝:東海高校(愛知)※13年ぶり3回目

第18回
2013年

「日本は首相公選制を導入すべきである。是か非か」
優勝:岡山白陵高校(岡山)※初優勝

第19回
2014年

「日本は外国人労働者の受け入れを拡大すべきである。是か非か」
優勝:創価高校(東京)※7年ぶり6回目

第20回
2015年

「日本は裁判員制度を廃止すべきである。是か非か」
優勝:熊本マリスト学園高校(熊本)※初優勝

第21回
2016年

「日本は国民投票制度を導入すべきである。是か非か」
優勝:県立岡崎高校(愛知)※初優勝

デベート甲子園

